

氏青通信

発行責任者
飯坂八幡神社
氏子青年会
梅津庸二



護賀新年



注連縄 奉納

年の瀬が迫る十二月、当青年会が注連縄を奉納しました。社殿に飾ってあった注連縄が古くなったのをきっかけに、当会が新調しました。



注連縄の取り付け風景

歳旦祭

歳旦祭とは、一月二日

新しい年を迎えて、国家の安泰、国民の平和、五穀の豊穰及び産業の隆昌を祈り、併せてご神威を寿ぐ祀り事です。

氏子青年会の会員も、元日朝七時より社殿にて、関係者と一緒にお祓いを受けました。それに先立ち、昨年十二月二十一日には、当青年会で境内の清掃を行い、社殿に注連縄を新調し奉納しました。大晦日には、太鼓保存会による「太鼓打初式」が行われ、今年の繁栄を祈願していました。

太鼓打初式

大晦日の午後十一時五十五分、関係者と一緒にお祓いを受け、年が変わった午前零時、太鼓の初打ちが奉納されました。



関係者が玉串を捧げ、参拝



初詣!

午前零時を回ると、待ちかねたように参拝客が初詣をしていました。参拝が済むと、保存会が準備してくれた甘酒で冷えた体を温めていました。また、縁起物を求めて並ぶ姿も多く見られました。



「お願いします」



大勢の参拝客で賑わう拝殿前

「家内安全、身体堅固 商売繁昌」



縁起物を求め行列が

どんと祭



一月十五日、旧年の御神札や今年の正月飾り等を納める「どんと祭」が、宮司・禰宜の手によって午前七時に火入れして行われました。



氏子青年会の会員延べ十名以上が手伝いに集まり、納められたものを分別し、焼納しました。

シリーズ掲載

はじめに

今回から、「この紙面を利用し神社のいろいろなことを勉強し、理解してもらおう」と思い、「神社のいろは」と題しシリーズ化し掲載していきたいと思います。

「神社のいろは」その①

鳥居

鳥居は神社の内と外を分ける境に立てられ、鳥居の内は神様がお鎮まりになる御神域として尊ばれます。

鳥居の起源については、天照大御神(おまてらすおおみかみ)が天の岩屋にお隠れになった際に、八百万の神々が鶏を鳴かせましたが、このとき鶏が止まった木を鳥居の起源であるとする説や、外国からの渡

来説などがあります。鳥居はそれぞれの神社により形態が異なります。

代表的なものとしては、鳥居上部の横柱が一直線になっている神明(しんめい)鳥居と、この横柱の両端が上向きに反っている明神(みょうじん)鳥居があります。



当八幡神社は、後者の明神鳥居の形になります。また、神社にお参りするときは、鳥居の前で一旦止まり、お辞儀をしてから鳥居をくぐります。

参道

鳥居をくぐり抜けると、社殿まで続く道があります。「この道を「参道」といいます。

文字どおり参道とは「お参りする道」で、神さまの鎮まる所と人とを結びつける大切な道です。敬虔(けいけん)な気持ちで進むようにしましょう。

参道の中央は「正中(せいちゆう)」といわれ、神さまの通り道とされているので、そこをなるべく歩かないようにするのが、神さまに対する礼儀といえるでしょう。また、参道を横切るときは、軽く会釈をしながら横切ります。これは参道だけではなく、社殿の中でも同じ事がいえます。



鎮守の森から

去る一月二十六日、文化財防火デーに伴う消防訓練が行われました。当日は福島市消防本部、教育委員会を始め地元の消防団、それに近隣の町内会の皆さん方が、それぞれの役割に従い、真剣に取り組みましたが、極寒の中での訓練でしたが、無事に勉めを終えることができました。

終了後には敬神婦人会の奉仕による豚汁の炊き出しに、冷えた体を温め一同から感謝の言葉が寄せられました。皆さん方のご協力有り難うございました。

編集後記

あけまして、おめでとうございませう。氏青会員や崇敬者様には、今年も一年幸多かることをお祈りいたします。

http://hachimanjin.jp
hp:infoseek.co.jp/
「けんか祭り」の検索

